

地理関連学連合 運営委員会 2021 年第二回会議

日時 2021 年 2 月 17 日（水曜日） 10：00－11：25

形態 オンライン会議

出席者：春山成子（議長、東京地学協会、三重大学名誉教授）、山本佳世子（副議長、日本地理学会、電気通信大学）、井田仁康（日本地理教育学会、筑波大学）、大佛俊泰（地理情報システム学会、東京工業大学）、島田沢彦（日本沙漠学会、東京農業大学）、高野岳彦（東北地理学会、東北学院大学）、目代邦康（日本地形学連合、東北学院大学）、由井義通（地理科学学会、広島大学）、松井圭介（地理空間学会、筑波大学） 事務局：細井久恵（日本地理学会事務局）

1. 前回議事録の確認

了承された。

2. 教員研修について

地理科学学会主催例会において、濱野清氏（広島県教育センター副所長、前文部科学省視学官で学習指導要領改訂作業の責任者）を講師とした教員向けの講習があるとの報告があった。また、ESD のユネスコによる活動の紹介があり、学協会として ESD にどのように取り組んでいるか、および「地理総合」に関しての都市計画学会の取り組み、GIS 教材の提供、地理教員向けへの実習、教員免許更新講習での地理関連の講座、地理の大学入試問題、オンライン巡検、オンライン研修、国立情報学研究所の提供する情報、地理の有用性を強調したイギリスの地理教科書の導入の仕方について、情報・意見交換をおこなった。さらに、雑誌「地理」で授業開発している地理教員に実践の掲載を促し、高校の優れた地理教員の発掘を行っていることが報告された。また、春の日本地理学会での地理教育に関する公開シンポについての報告があった。

こうした地理関係学会が協同してすべき地理教育普及の活動について、3月27日（土）13：00からの地理学連携機構総会で報告し意見や質問をもとめ、各学協会が地理教育の普及に向けての情報共有ができるよう、議長に要望することになった。

3. その他

地理学連合として取り組むべきことに関連した学協会の報告が行われた。防災それにかかわり災害学連携体の情報も紹介され、GIS の学校教育での実践への表彰制度について報告があった。他学会での Web 開催の大会での運営が参考になったという報告から、そのような情報を共有していくことが合意された。そのような情報があれば島田委員に報告する

こととした。

次回の運営委員会は、半年後ぐらいをめどに開催し、その際には、各学協会から話題の提供をするよう議長から要望があった。

以上